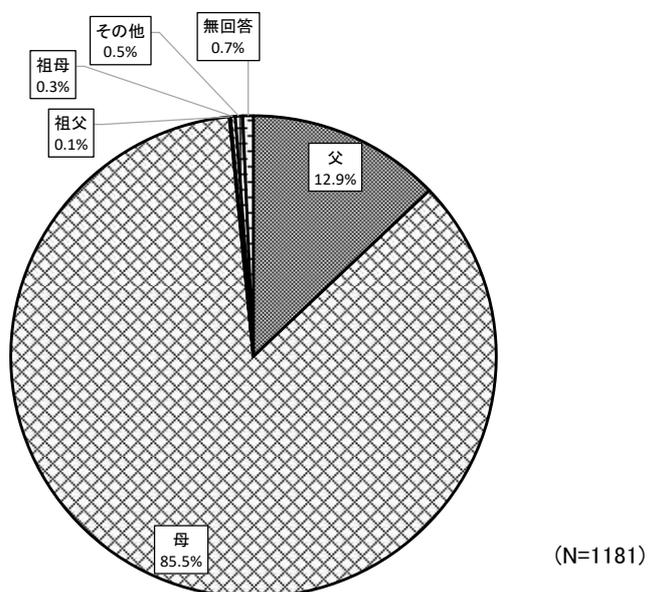


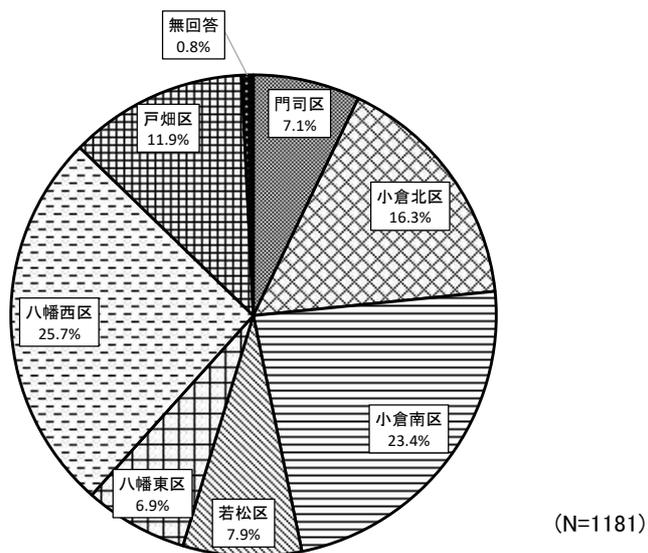
〔中学・高校生の保護者〕

1. 子どもと家族の状況等

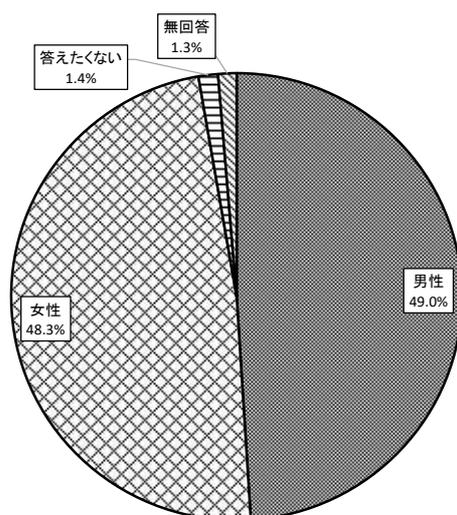
(1) 子どもと回答者の続柄(問1)



(2) 居住区(問2)

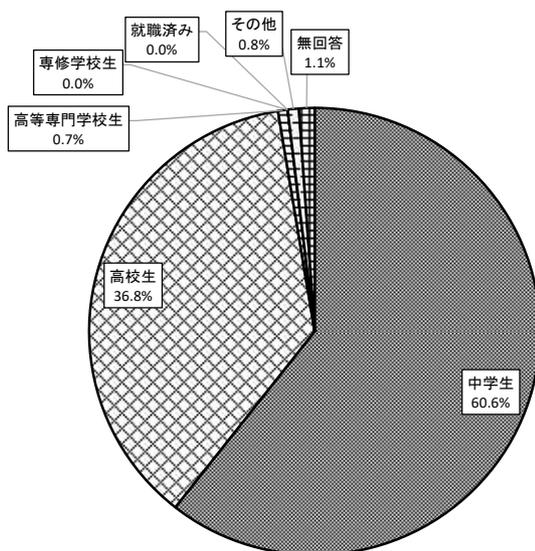


(3) 子どもの性別(問 3)



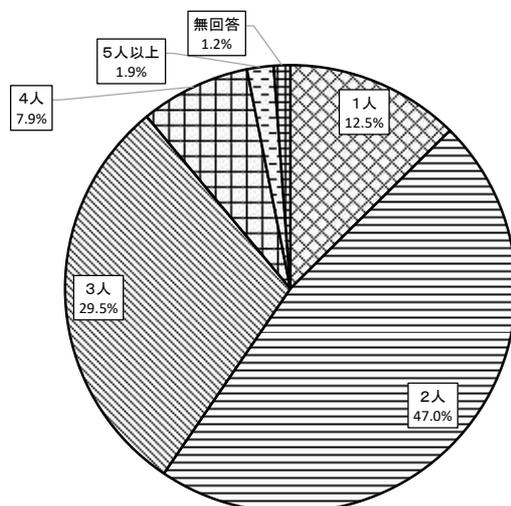
(N=1181)

(4) 子どもの状況(問 4)



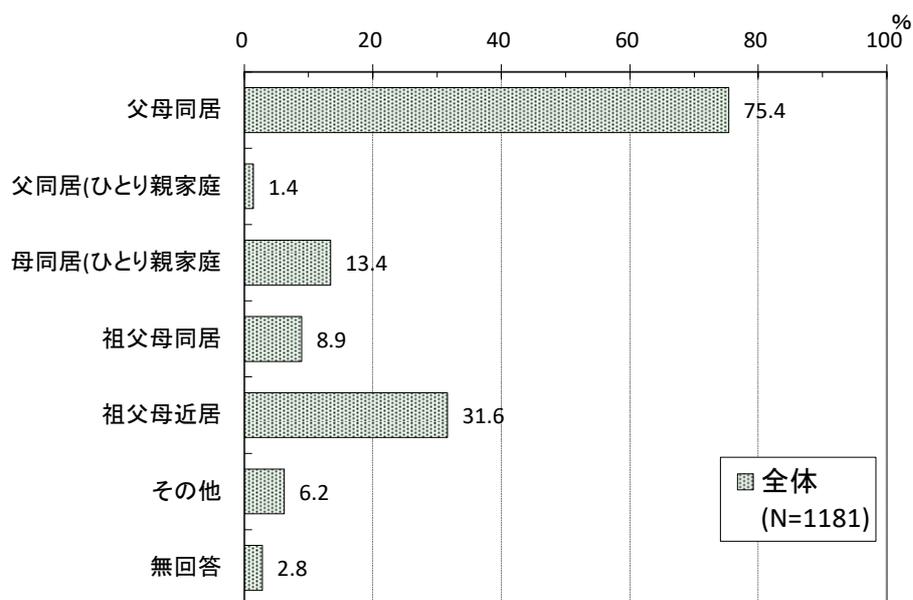
(N=1181)

(5) 子どもの人数(問 5)

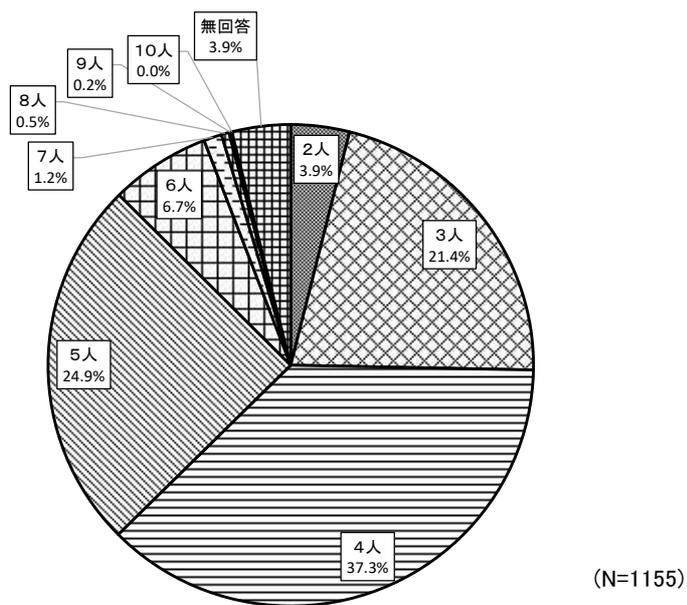


(N=1167)

(6) 同居の状況(問6)【複数回答】



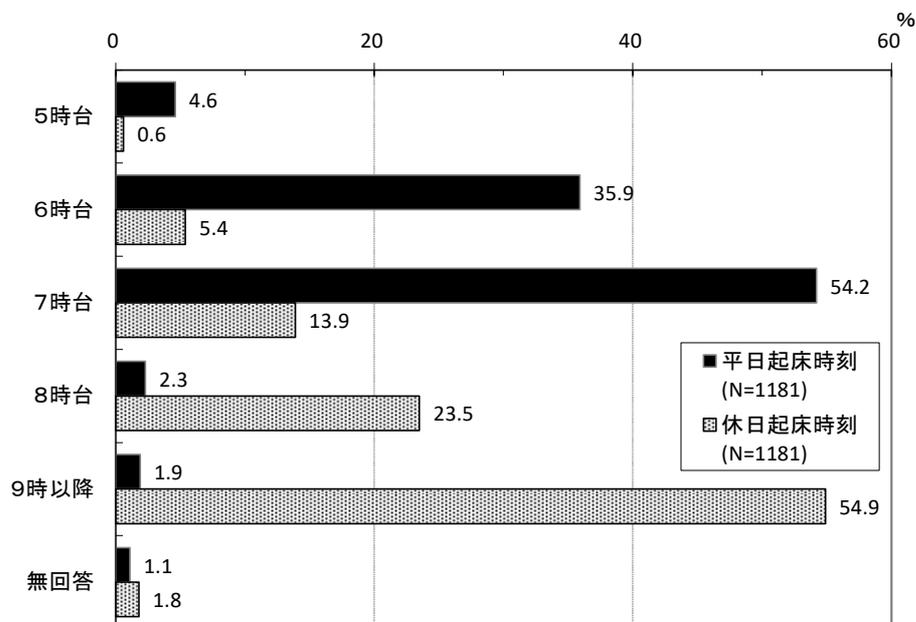
(7) 同居している家族の人数(問6)



2. 子どもの生活状況

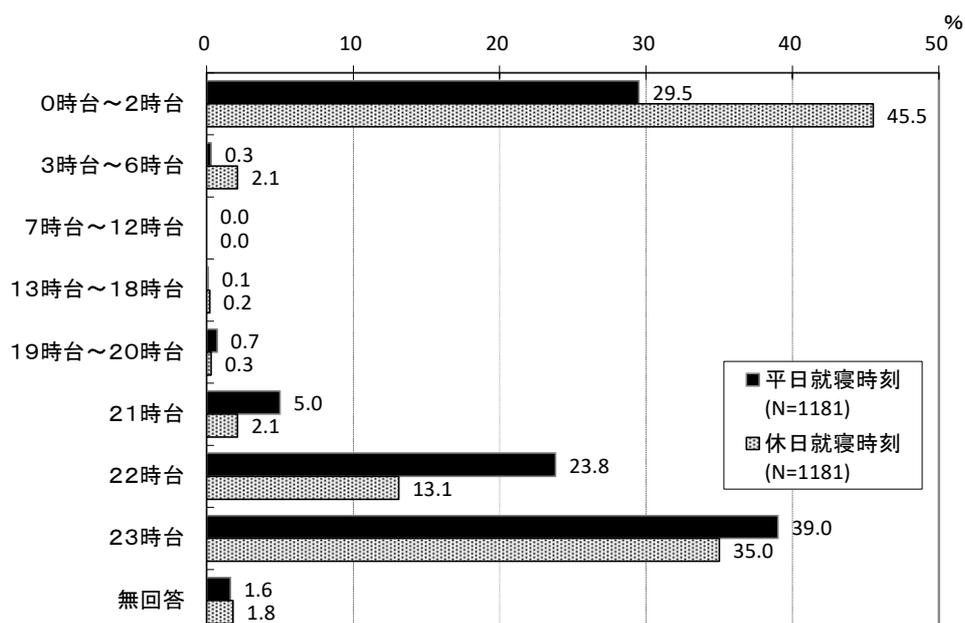
(8) 子どもの起床時刻(問 7)

平日の子どもの起床時刻は、「7時台」が 54.2%で最も高く、次いで「6時台」35.9%、「5時台」4.6%となっている。休日(翌日に学校や仕事がない日)は、「9時以降」が 54.9%で最も高く、次いで「8時台」23.5%、「7時台」13.9%となっている。



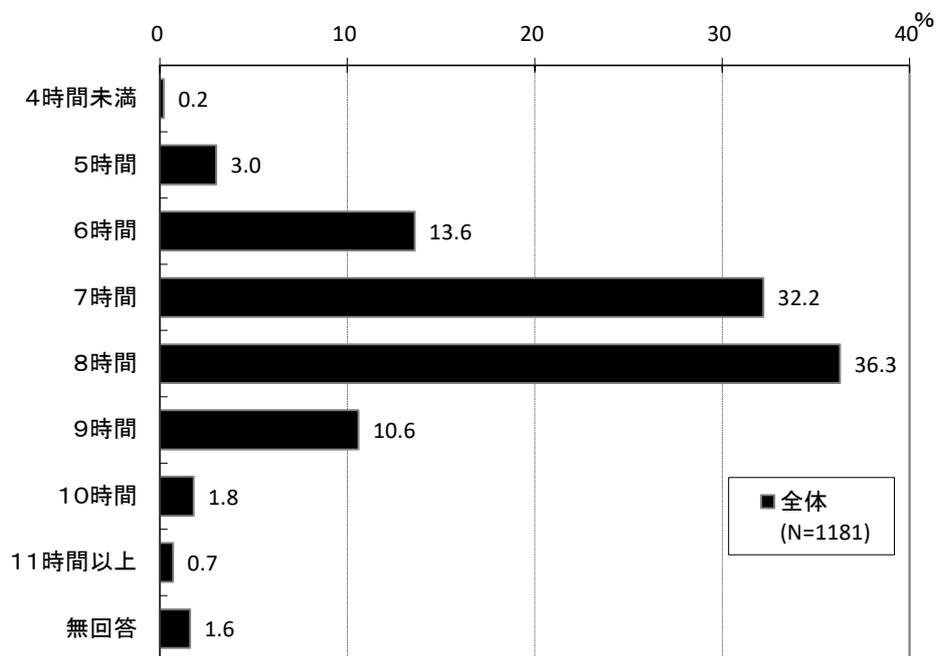
(9) 子どもの就寝時刻(問 7)

平日の子どもの就寝時刻は、「23時台」が 39.0%で最も高く、次いで「0時台～2時台」29.5%、「22時台」23.8%となっている。休日(翌日に学校や仕事がない日)は、「0時台～2時台」が 45.5%で最も高く、次いで「23時台」35.0%、「22時台」13.1%となっている。



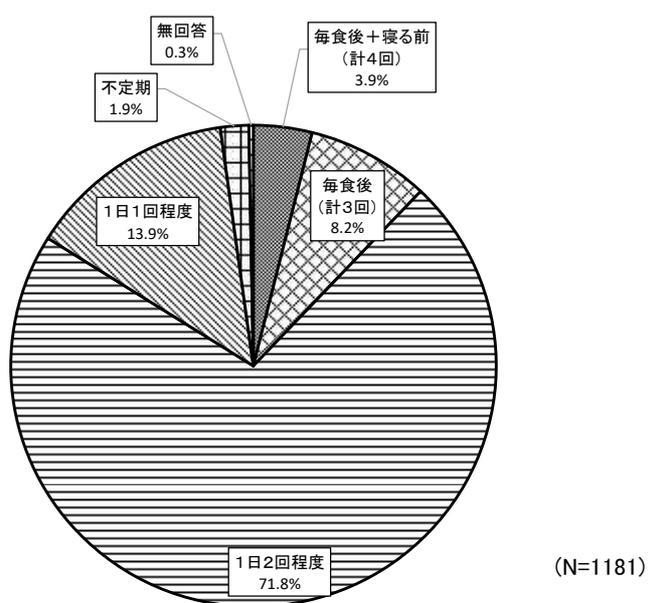
(10) 子どもの平均睡眠時間(問 7)

子どもの平均睡眠時間は、「8時間」が 36.3%で最も高く、次いで「7時間」32.2%、「6時間」13.6%となっている。



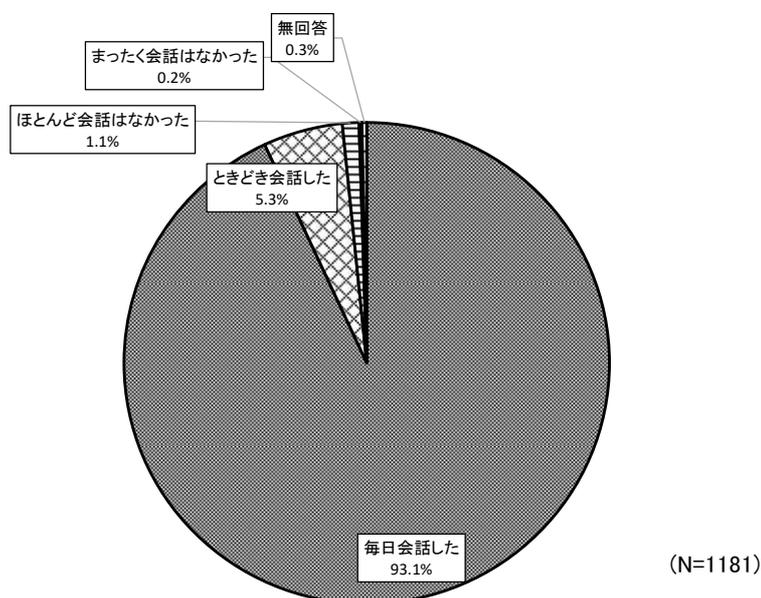
(11) 一週間の歯磨きの頻度(問 8)

一週間の歯磨きの頻度は、「1日2回程度」が 71.8%で最も高く、次いで「1日1回程度」13.9%で、毎食後(1日3回以上)歯磨きをする割合は 12.1%となっている。



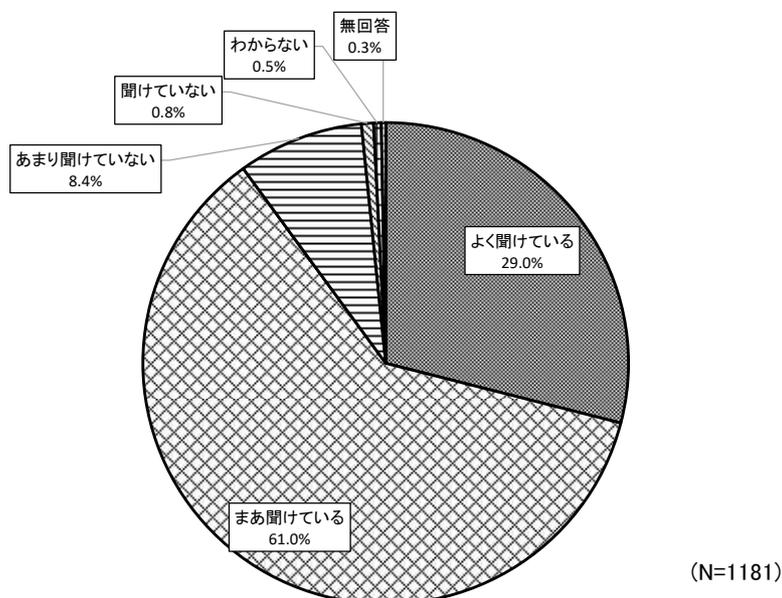
(12) 家族との会話(問 9)

家族との会話は、「毎日会話した」が 93.1%で最も高く、次いで「ときどき会話した」5.3%となっている。

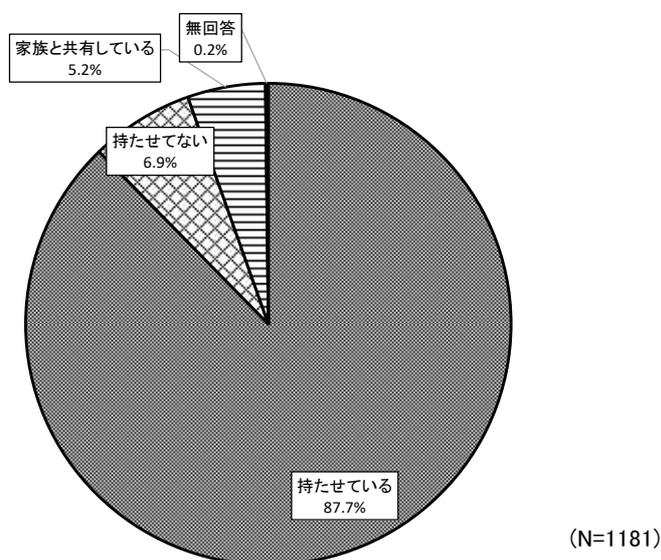


(13) 子どもの話をよく聞けているか(問 9-1)

子どもの話をよく聞けているかについては、「まあ聞けている」が 61.0%で最も高く、次いで「よく聞けている」29.0%、「あまり聞けていない」8.4%となっている。

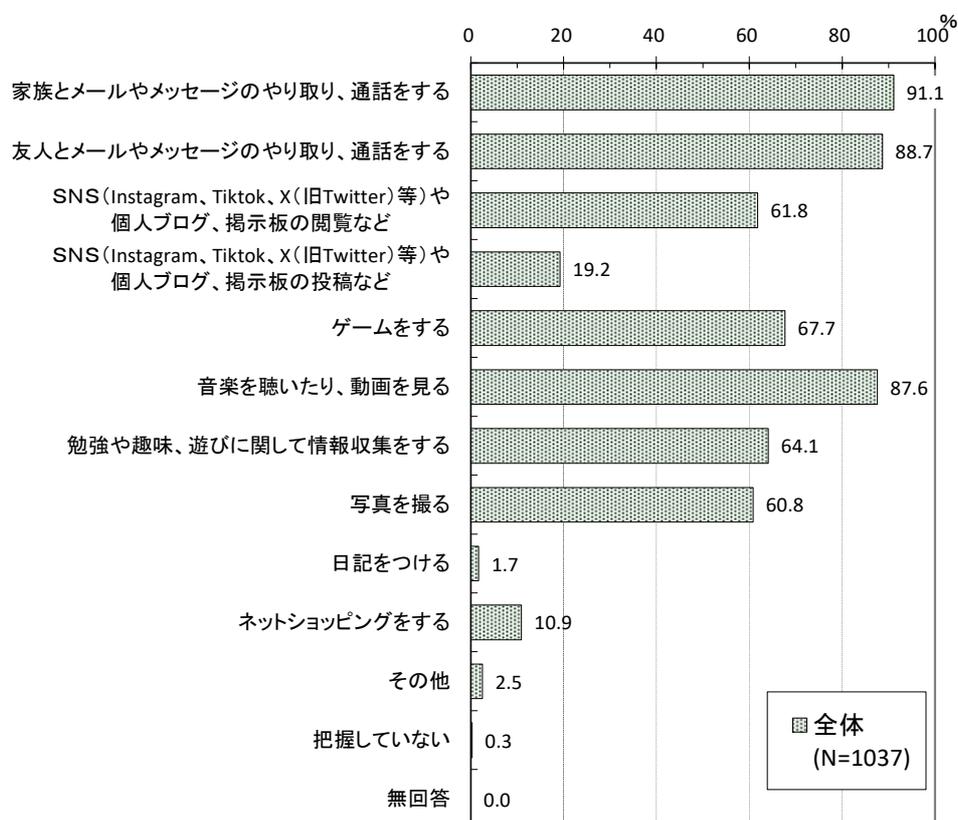


(14) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器の所有状況(問 10)
 子どもの通信機器の所有率(「持たせている」の回答率)は 87.7%となっている。



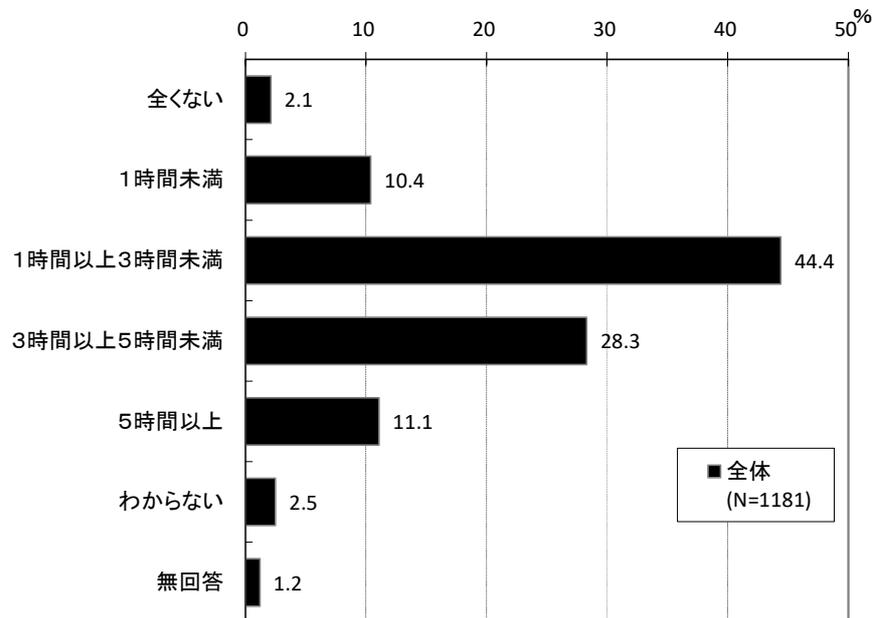
(15) 通信機器の使用目的(問 10-1)【複数回答】

子どもが所有する通信機器の使用目的は、「家族とメールやメッセージのやり取り、通話をする」が 91.1%で最も高く、次いで「友人とメールやメッセージのやり取り、通話をする」88.7%、「音楽を聴いたり、動画を見る」87.6%となっている。



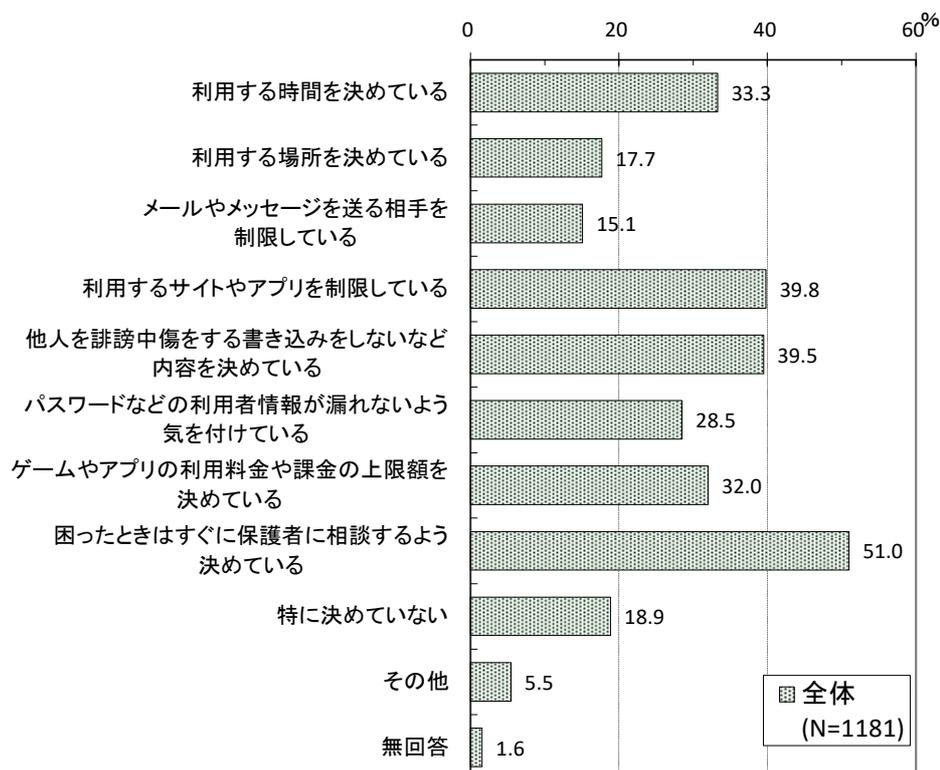
(16) 携帯電話・スマートフォン、タブレット等を使用する時間(問 11)

1日に子どもが携帯電話・スマートフォン、タブレット等を使用する時間は、「1時間以上3時間未満」が44.4%で最も高く、次いで「3時間以上5時間未満」28.3%、「5時間以上」11.1%となっている。



(17) 家庭でのインターネットやSNSの使い方についてのルール(問 12)【複数回答】

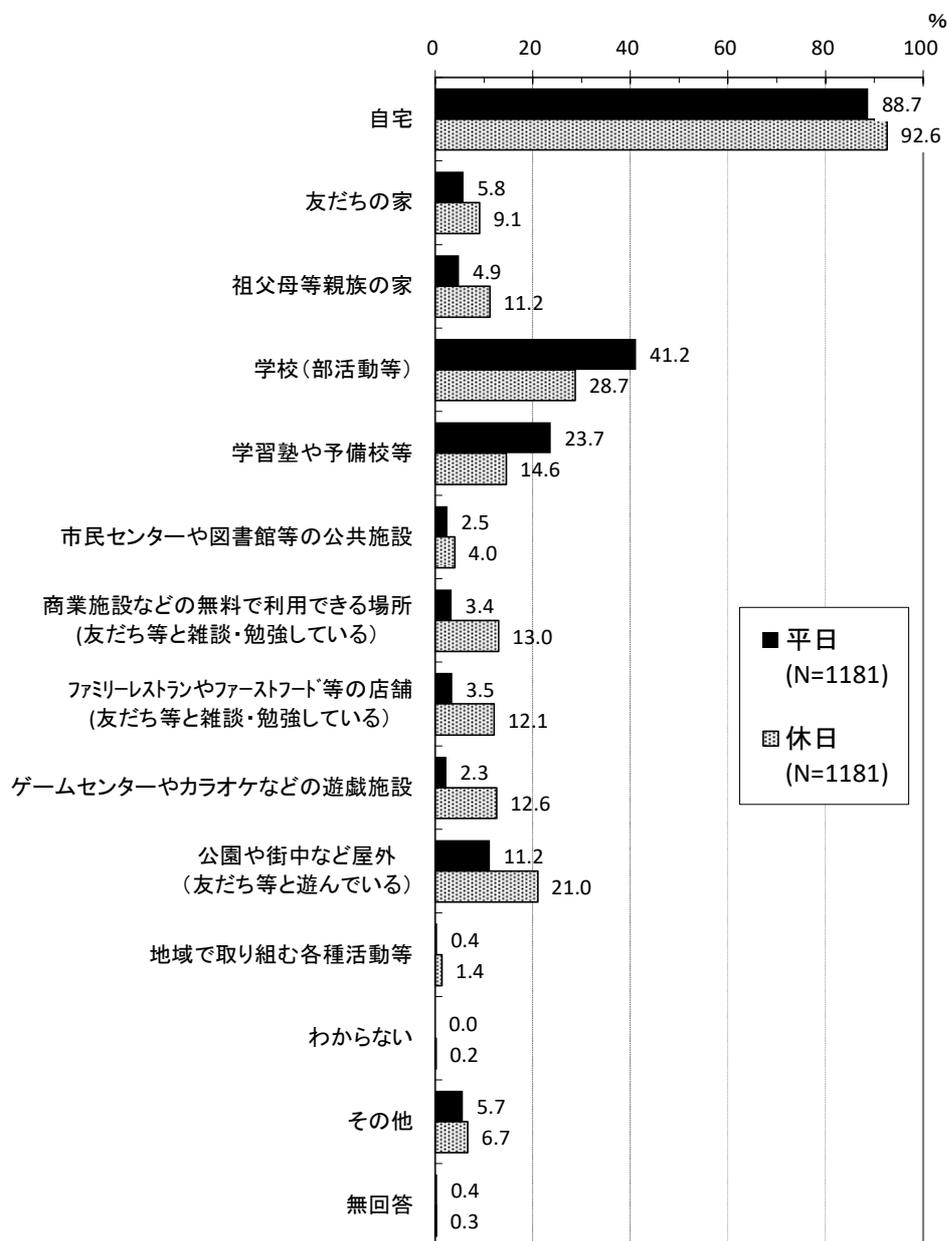
家庭でのインターネットやSNSの使い方についてのルールは、「困ったときはすぐに保護者に相談するよう決めている」が51.0%で最も高く、次いで「利用するサイトやアプリを制限している」39.8%、「他人を誹謗中傷をする書き込みをしないなど内容を決めている」39.5%、「利用する時間を決めている」33.3%などとなっている。



(18) 子どもが放課後等で過ごすことが多い場所(問13)【複数回答】

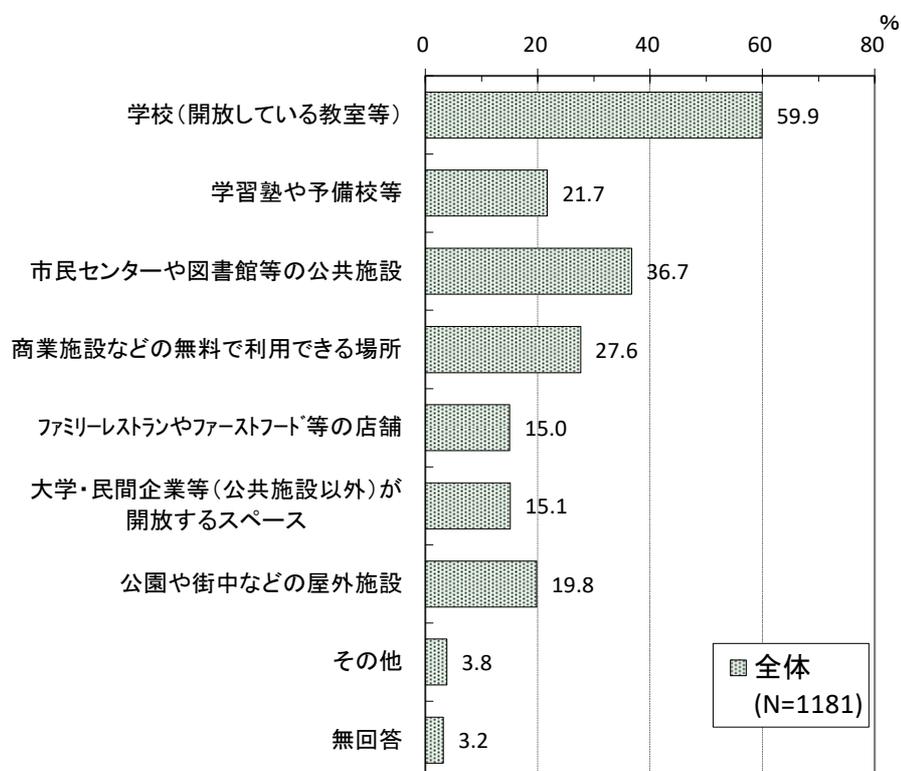
子どもが放課後等で過ごすことが多い場所は、平日は「自宅」が88.7%で最も高く、次いで「学校(部活動等)」41.2%、「学習塾や予備校等」23.7%となっている。

休日は「自宅」が92.6%で最も高く、次いで「学校(部活動等)」28.7%、「公園や街中など屋外(友だち等と遊んでいる)」21.0%となっている。



(19) 子どもが放課後(平日)過ごす場所として望ましい場所(問 13-1)【複数回答】

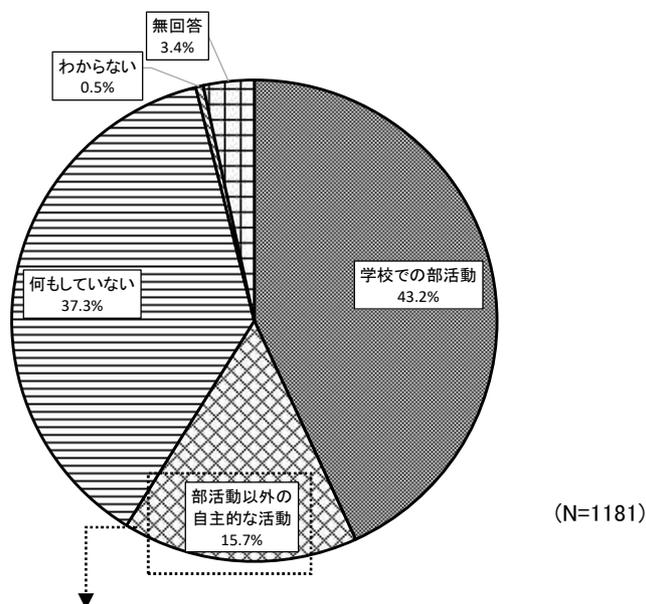
放課後(平日)に友達と雑談・勉強などをして過ごすのがあると良い場所は、「学校(開放している教室等)」が 59.9%で最も高く、次いで「市民センターや図書館等の公共施設」が 36.7%、「商業施設などの無料で利用できる場所」27.6%となっている。



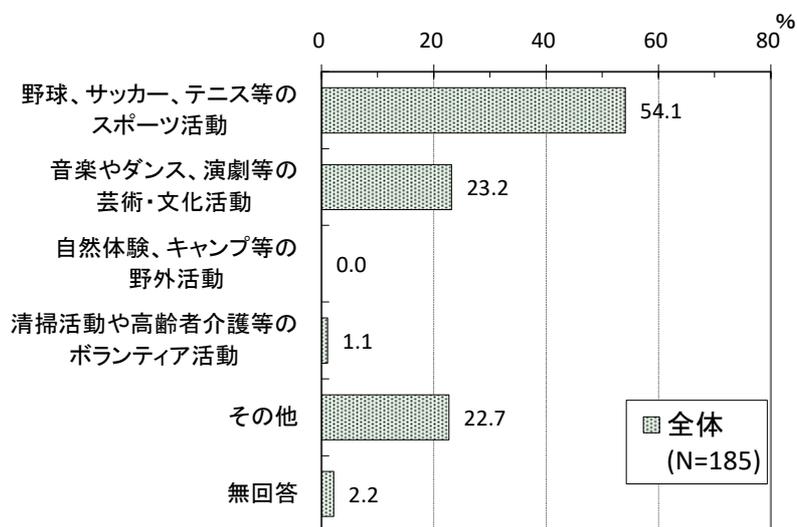
(20) 子どもの勉強や習い事以外の活動内容(問 14)【複数回答】

① 放課後(平日)

子どもの平日放課後の活動は、「学校での部活動」が 43.2%で最も高く、次いで「何もしていない」37.3%、「部活動以外の自主的な活動」15.7%となっている。

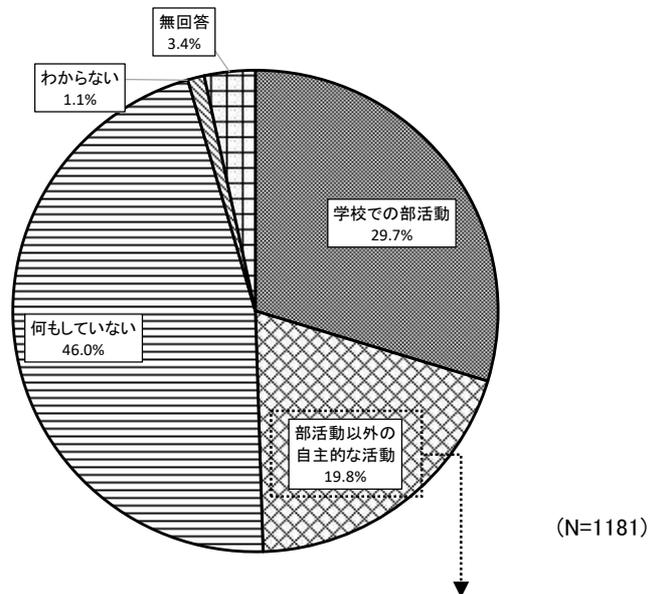


平日放課後の部活動以外の自主的な活動は、「野球、サッカー、テニス等のスポーツ活動」が 54.1%で最も高く、次いで「音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動」23.2%となっている。

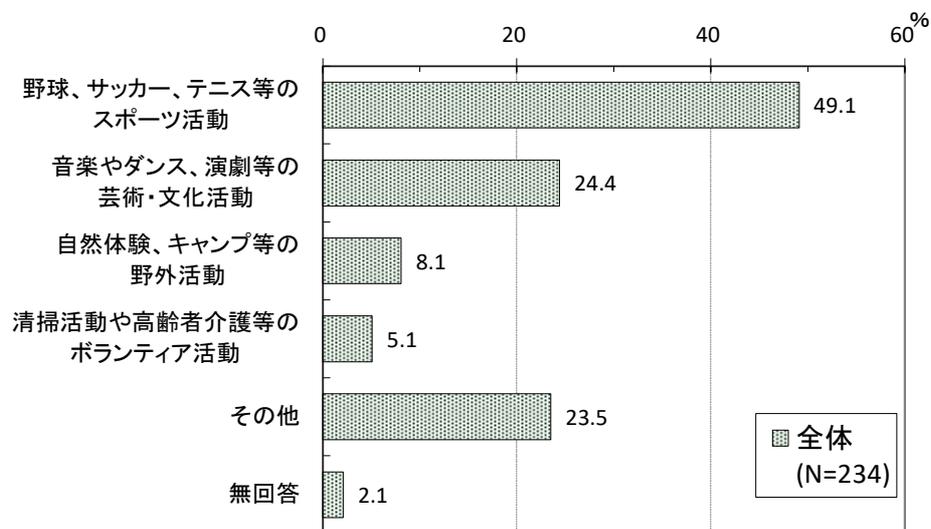


② 休日

子どもの休日の活動は、「何もしていない」が 46.0%で最も高く、次いで「学校での部活動」29.7%、「部活動以外の自主的な活動」19.8%となっている。

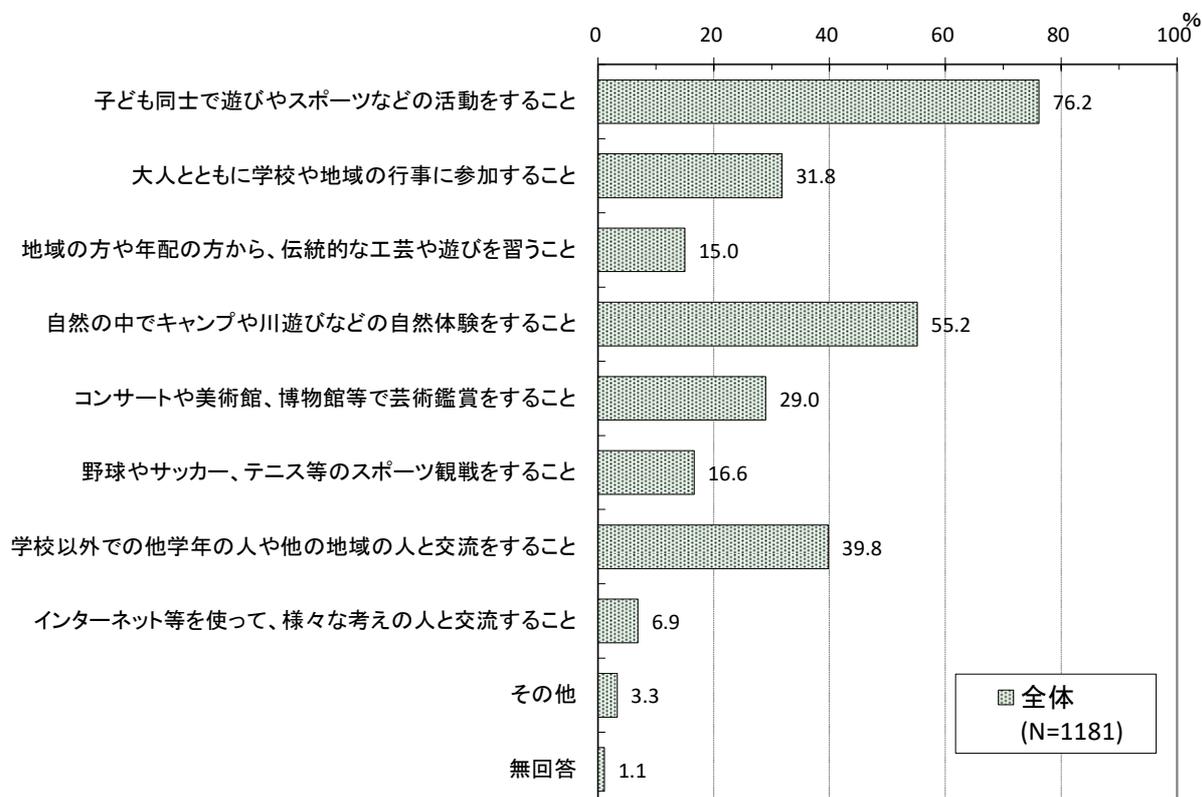


休日の部活動以外の自主的な活動は、「野球、サッカー、テニス等のスポーツ活動」が 49.1%で最も高く、次いで「音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動」24.4%「その他」23.5%となっている。



(21) 子どもが健全に成長するために必要な体験(問 14-1)【複数回答】

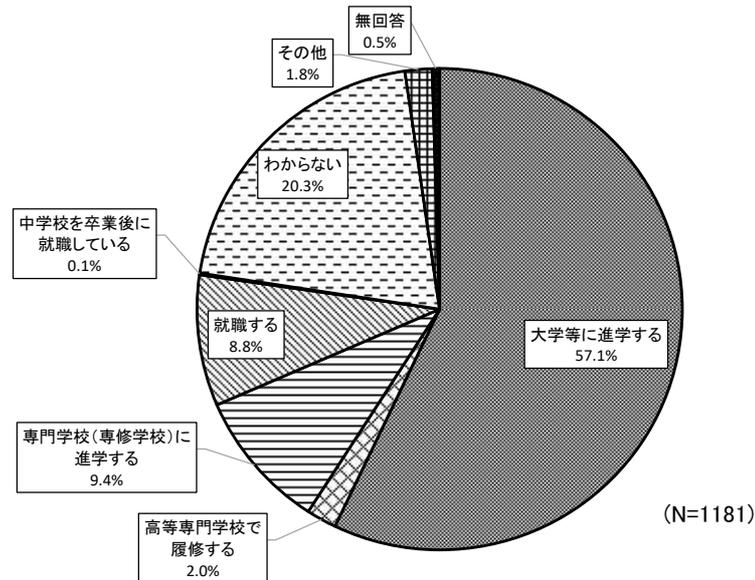
子どもが健全に成長するために必要な体験は、「子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする事」が 76.2%で最も高く、次いで「自然の中でキャンプや川遊びなどの自然体験をする事」55.2%、「学校以外での他学年の人や他の地域の人と交流をする事」39.8%、「大人とともに学校や地域の行事に参加すること」31.8%となっている。



3. 子育てに関する状況

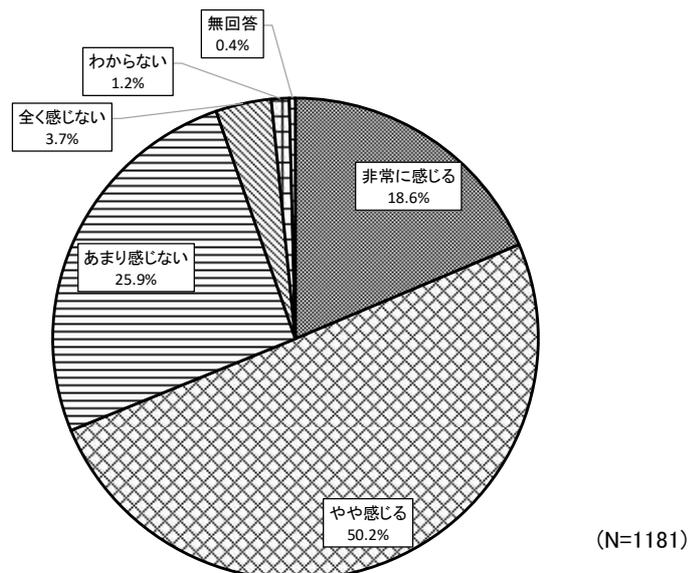
(22) 高校卒業後の子どもの進路(問 15)

高校卒業後の子どもの進路は、「大学等に進学する」が 57.1%で最も高く、次いで「わからない」20.3%、「専門学校(専修学校)に進学する」9.4%、「就職する」8.8%となっている。



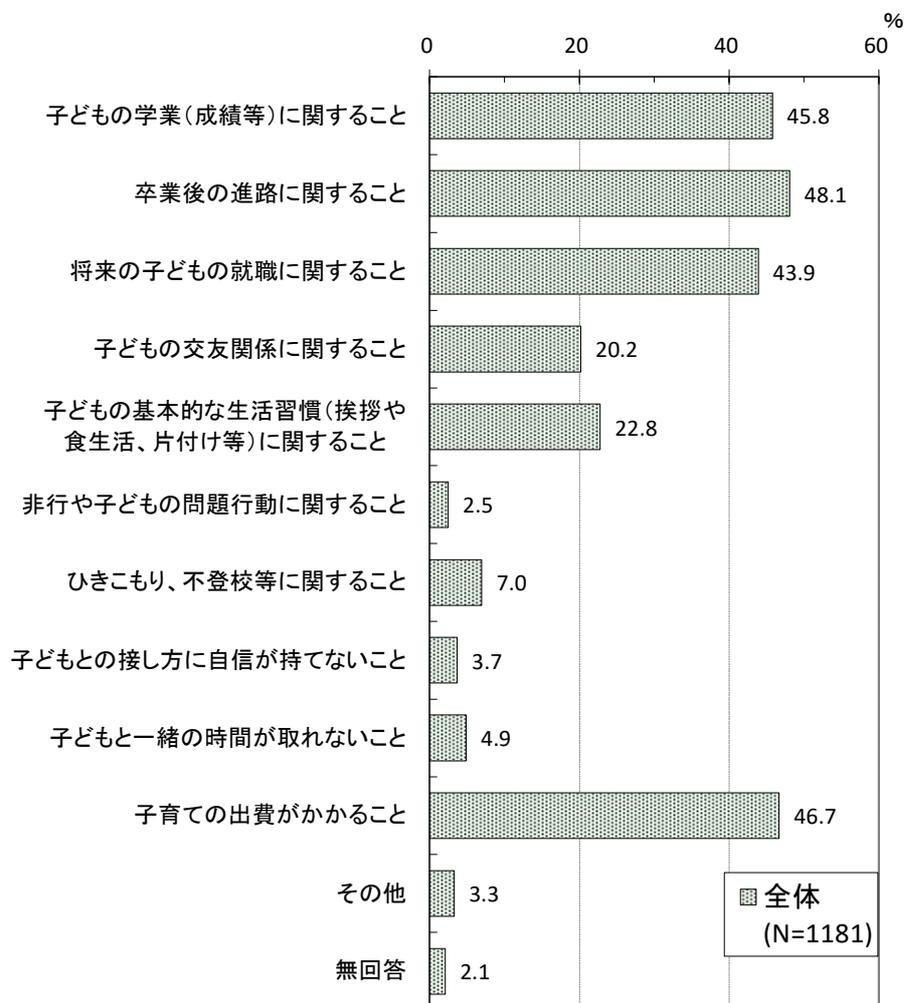
(23) 子育てや子どもの教育に関する悩みや不安の有無(問 16)

悩みや不安を「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『不安を感じる』割合は 68.7%で、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『不安を感じない』割合は 29.6%となっている。



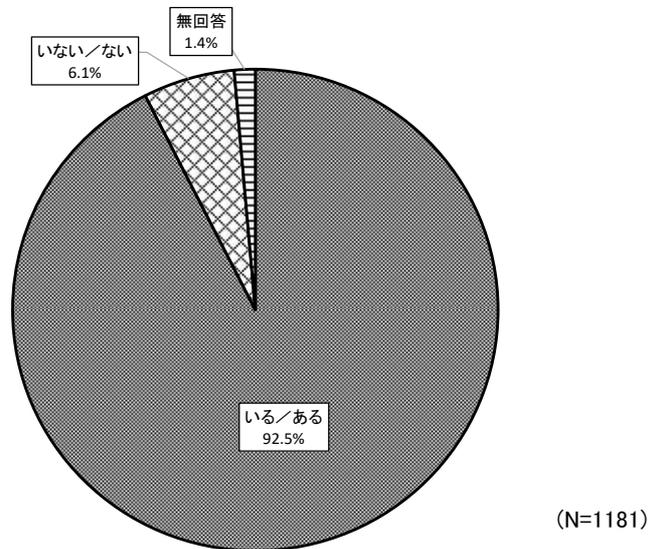
(24) 子育てに関して、日常悩んでいることや気になること(問 16-1)【複数回答】

子育てに関して、日常悩んでいることや気になることは、「卒業後の進路に関すること」が 48.1%で最も高く、次いで「子育ての出費がかかること」46.7%、「子どもの学業(成績等)に関すること」45.8%、「将来の子どもの就職に関すること」43.9%となっている。



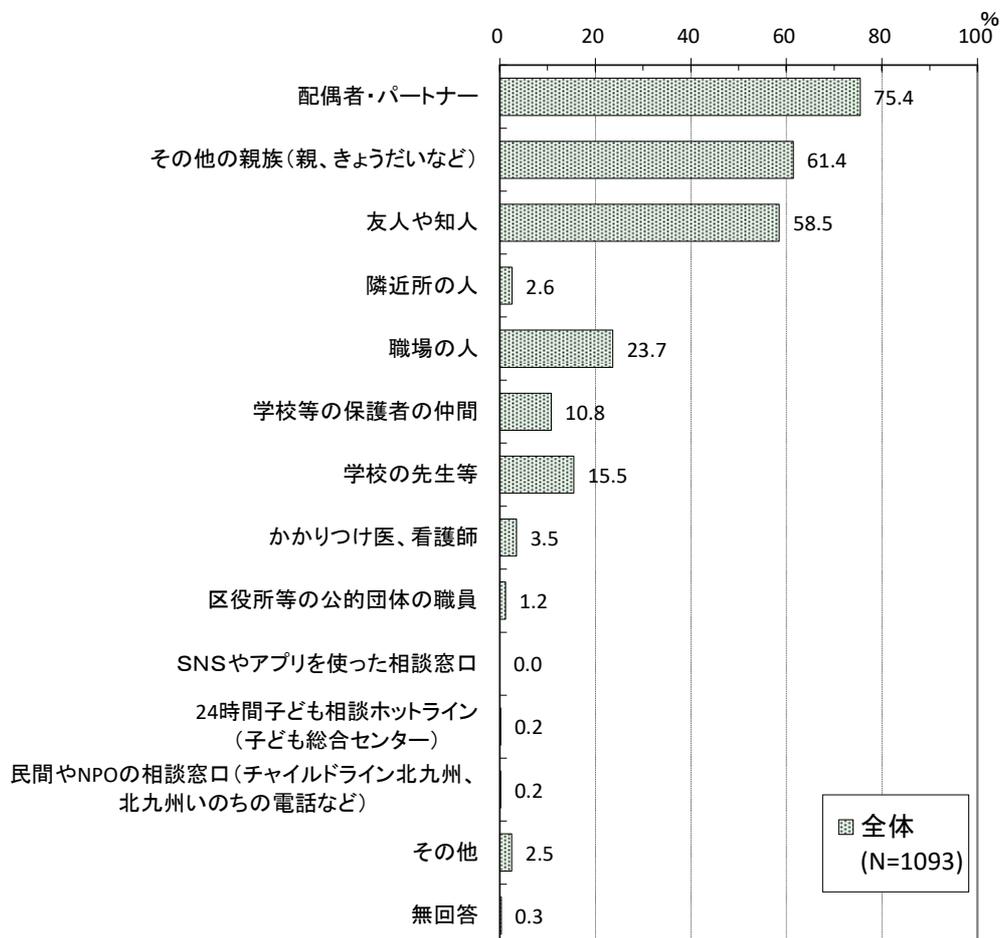
(25) 子育てに関する悩みや不安の相談相手や相談場所の有無(問 17)

子育てに関する悩みや不安の相談相手や相談場所が「いる／ある」が 92.5%、「いない／ない」が 6.1%となっている。



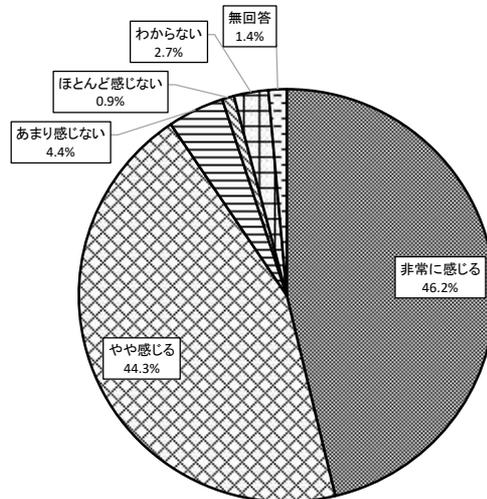
(26) 子育てに関する悩みや不安の相談相手(問 17-1)【複数回答】

子育てに関する悩みや不安の相談相手は、「配偶者・パートナー」が 75.4%で最も高く、次いで「その他の親族(親、きょうだいなど)」61.4%、「友人や知人」58.5%となっている。



(27) 子育てを楽しんでいるか(問 18)

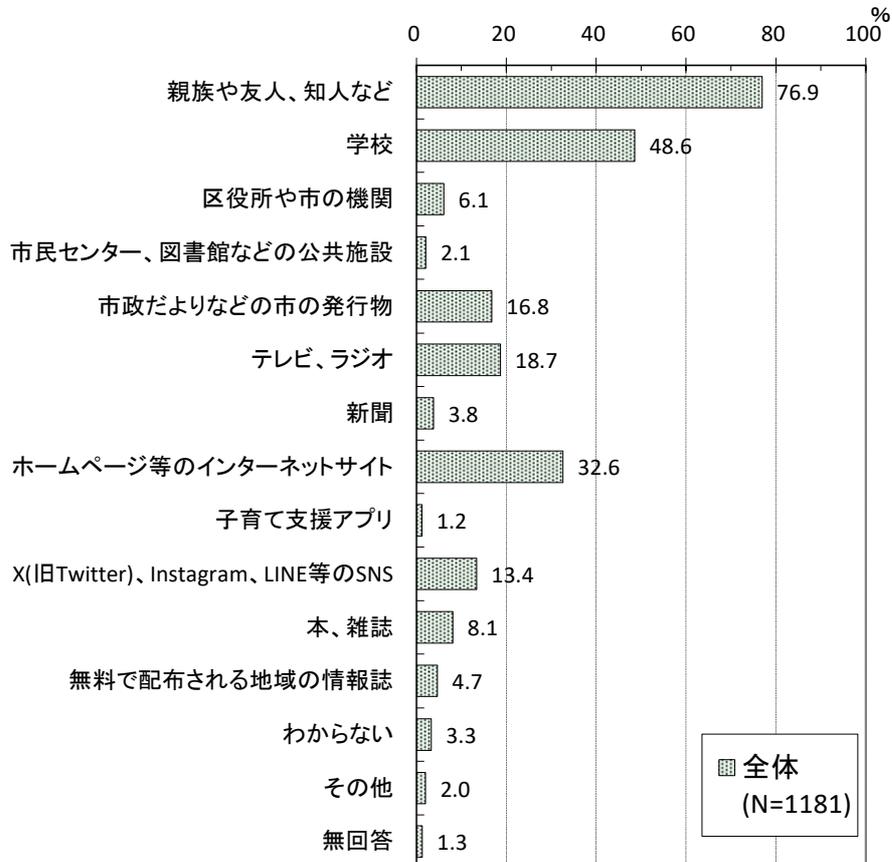
子育てを楽しんでいると「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『楽しいと感じる』割合は 90.5%で、「あまり感じない」と「ほとんど感じない」を合わせた『楽しいと感じない』割合は 5.3%となっている。



(N=1181)

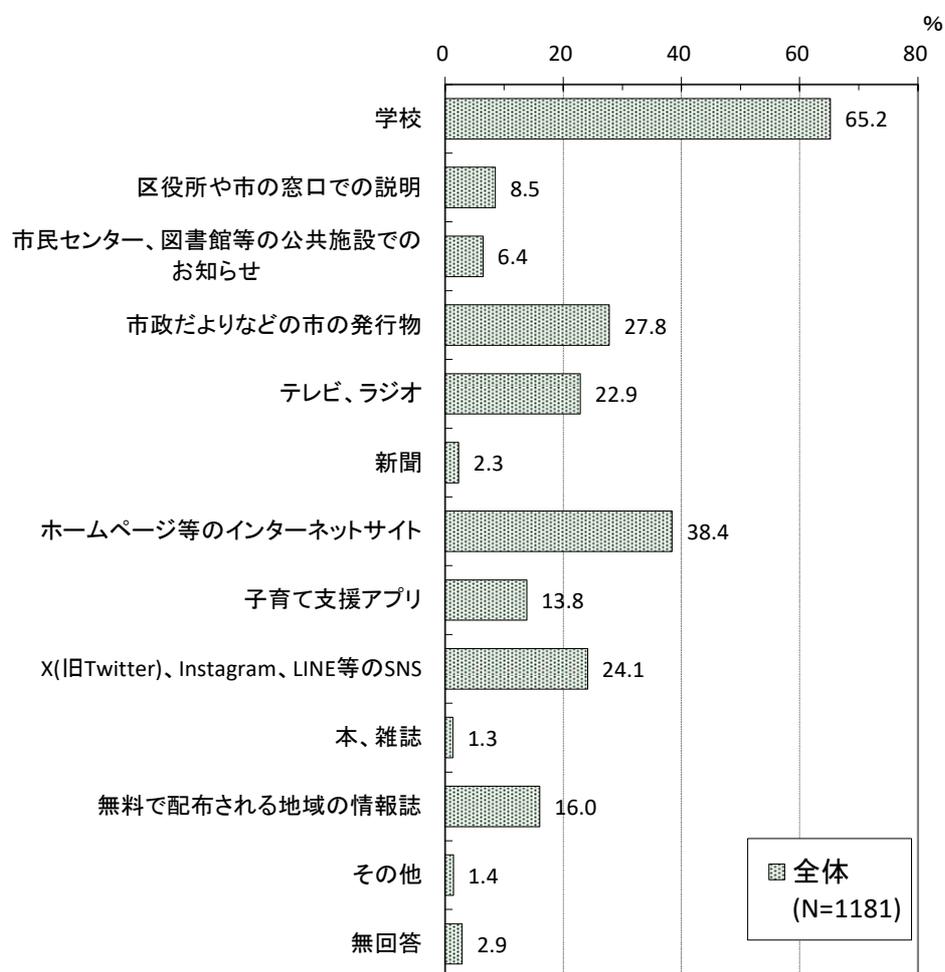
(28) 子育てに関する情報の入手先(問 19)【複数回答】

子育てに関する情報の入手先は、「親族や友人、知人など」が 76.9%で最も高く、次いで「学校」48.6%、「ホームページ等のインターネットサイト」32.6%となっている。



(29) より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信手段(場所)(問 20)【複数回答】

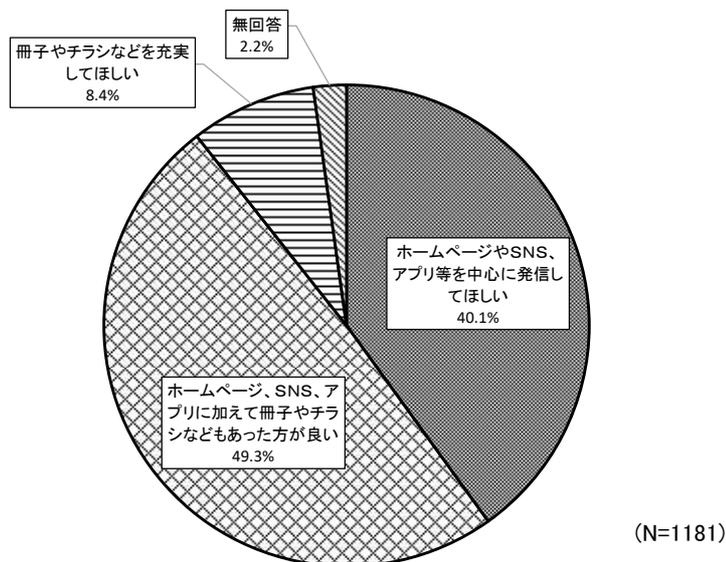
より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信の手段(場所)は、「学校」が 65.2%で最も高く、次いで「ホームページ等のインターネットサイト」38.4%、「市政だよりなどの市の発行物」27.8%、「X(旧Twitter)、Instagram、LINE等のSNS」24.1%となっている。



(30) 行政の子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)(問 20-1)

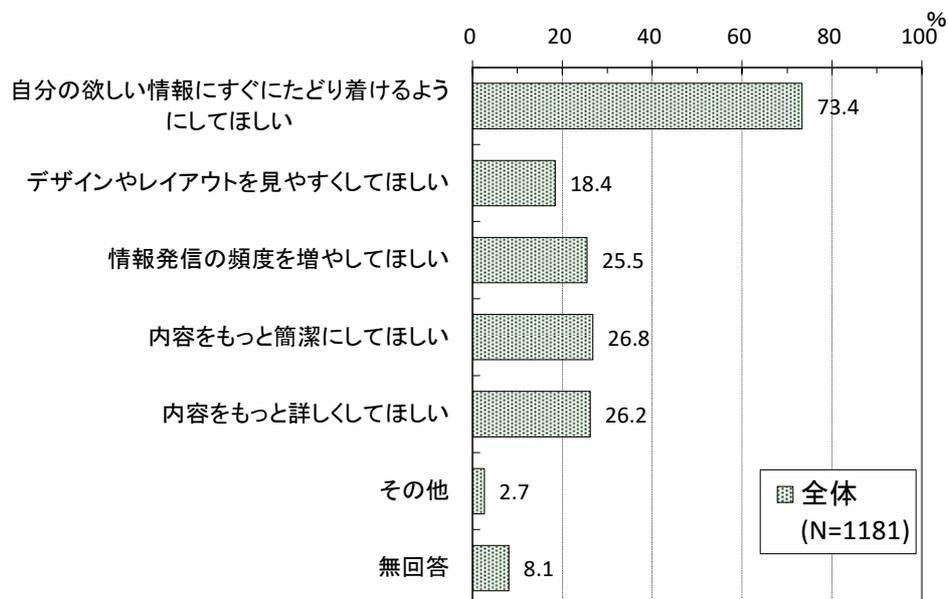
① 情報媒体(SNSや冊子等)

子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)は、「ホームページ、SNS、アプリに加えて冊子やチラシなどもあった方がよい」が 49.3%で最も高く、次いで「ホームページやSNS、アプリ等を中心に発信してほしい」40.1%、「冊子やチラシなどを充実してほしい」8.4%となっている。



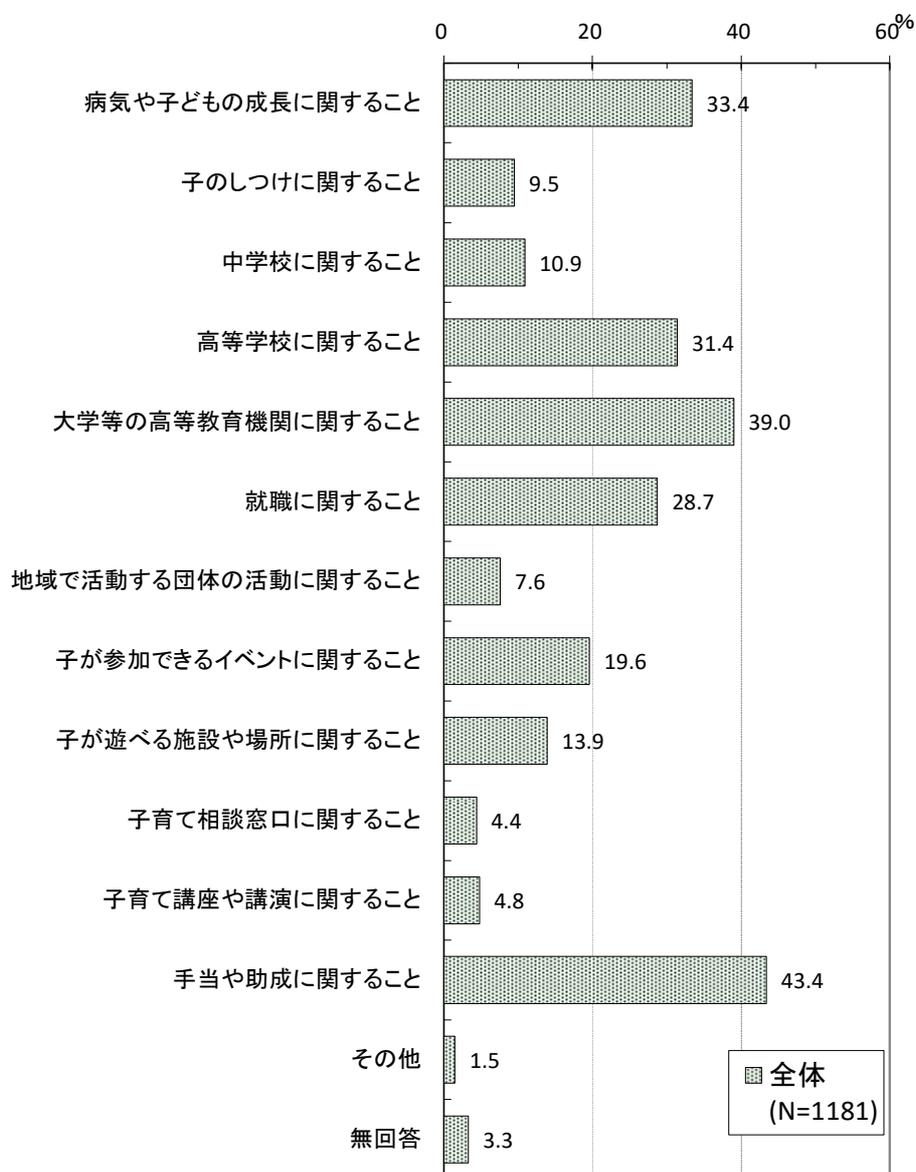
② 改善点【複数回答】

改善点は「自分の欲しい情報にすぐにたどり着けるようにしてほしい」が 73.4%で最も高い。



③ 知りたい情報【複数回答】

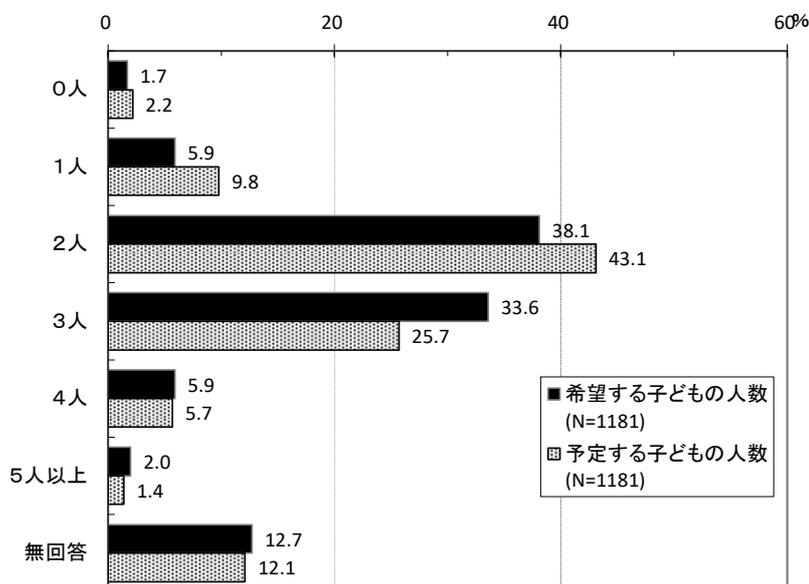
知りたい情報は「手当や助成に関すること」が 43.4%で最も高く、次いで「大学等の高等教育機関に関すること」39.0%、「病気や子どもの成長に関すること」33.4%、「高等学校に関すること」31.4%などとなっている。



(31) 希望する子どもの人数と実際に予定している子どもの人数(問 21)

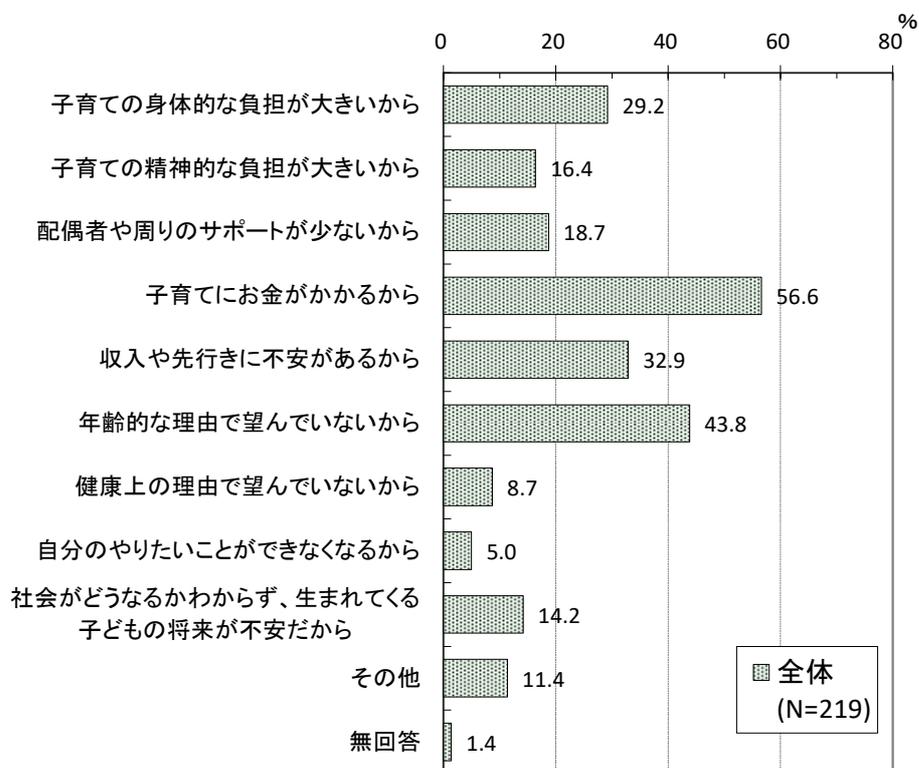
希望する子どもの人数は「2人」が 38.1%で最も高く、次いで「3人」33.6%となっている。

実際に予定している子どもの人数は「2人」が 43.1%で最も高く、次いで「3人」25.7%となっている。



(32) 希望する子どもの人数より実際に予定する子どもの人数が少ない理由(問 21-1)【複数回答】

(31)で希望する子どもの人数より実際に予定する子どもの人数が少ない人に、その理由を尋ねたところ、「子育てにお金がかかるから」が 56.6%で最も高く、次いで「年齢的な理由で望んでいないから」43.8%、「収入や先行きに不安があるから」32.9%となっている。

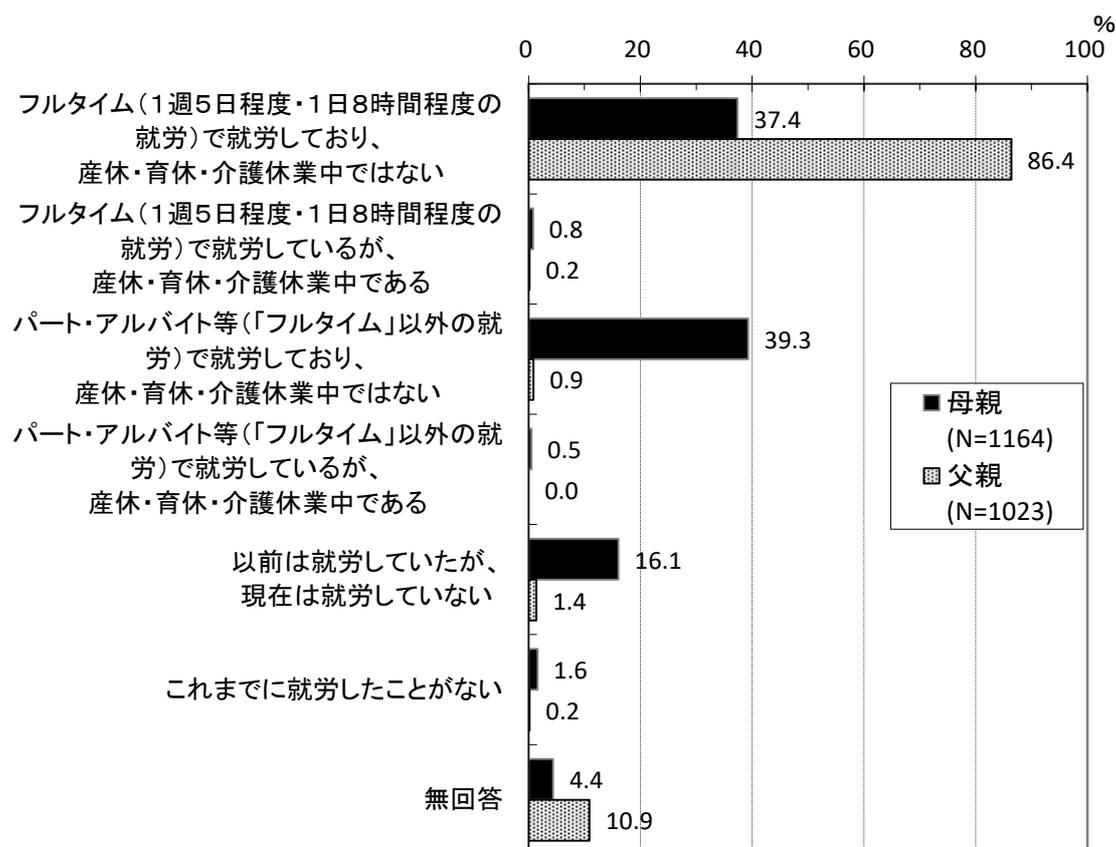


4. 保護者の就労状況

(33) 保護者の就労状況(問 22)

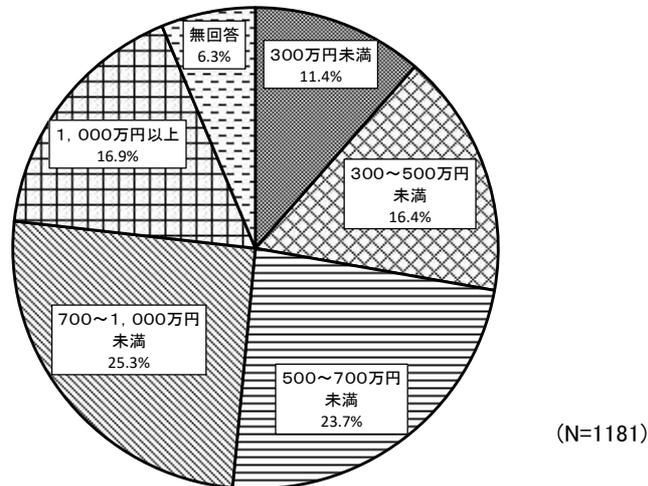
母親の就労状況は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 39.3%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 37.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」16.1%となっている。

父親の就労状況は「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」86.4%に集中している。



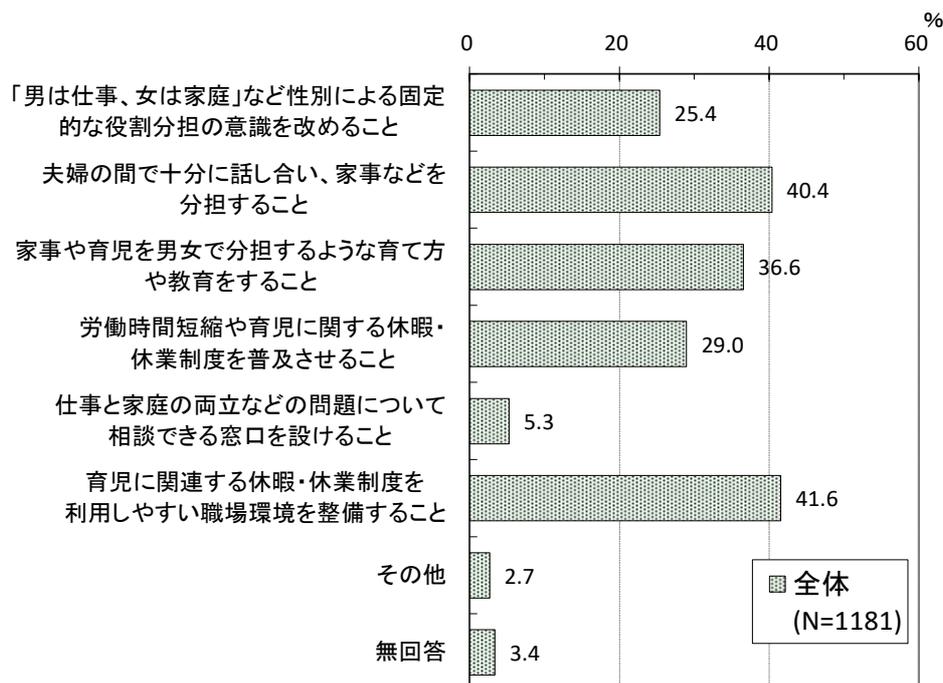
(34) 世帯全体の年収(問 23)

世帯全体の年収は、「700～1,000万円未満」が 25.3%で最も高く、次いで「500～700万円未満」23.7%、「1,000万円以上」16.9%、「300～500万円未満」16.4%となっている。



(35) 「共育て」の推進に必要なこと(問 24)

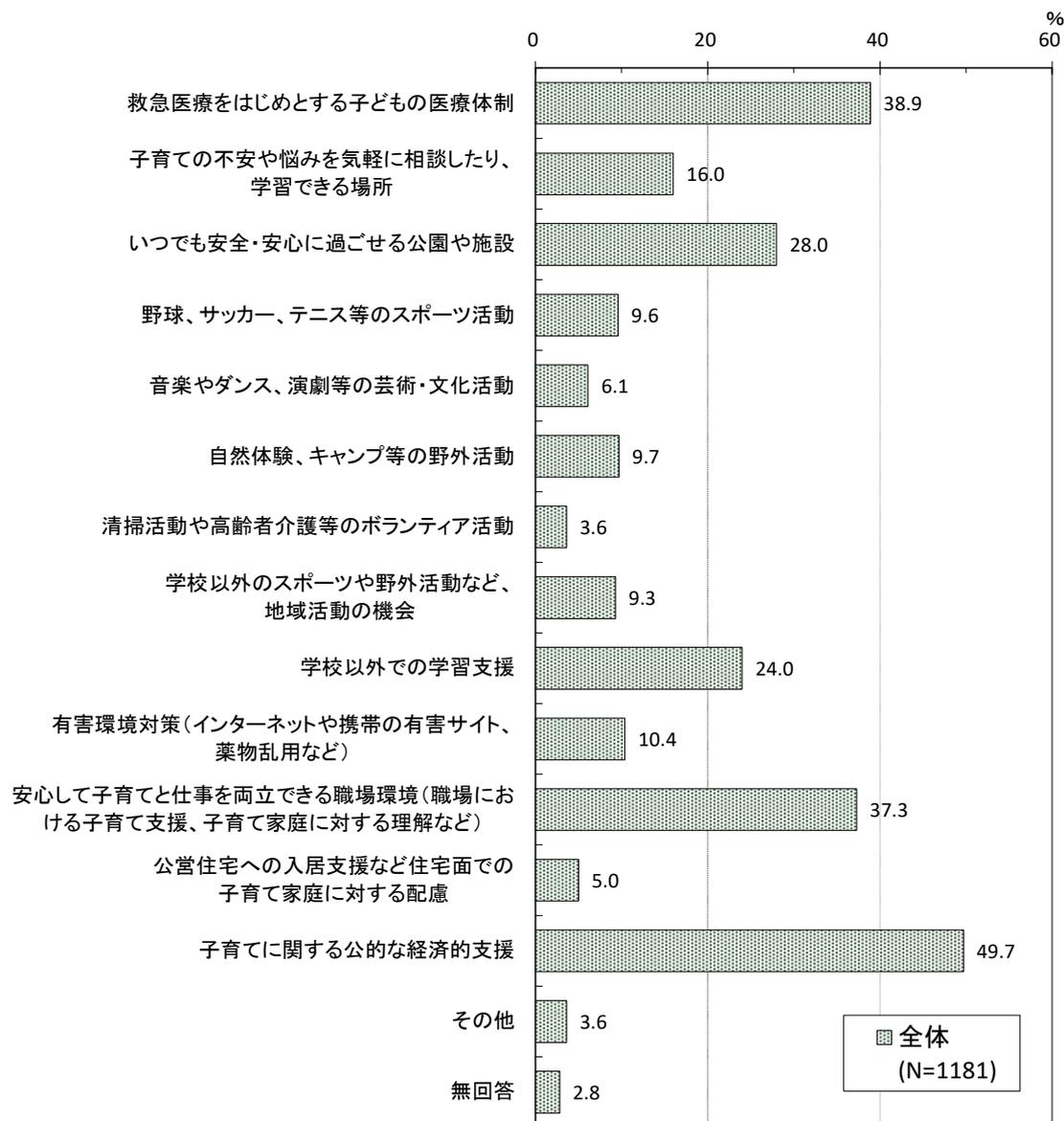
男女がともに子育てをしていく、いわゆる「共育て」の推進のために必要なことは、「育児に関連する休暇・休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること」が 41.6%で最も高く、次いで「夫婦の間で十分に話し合い、家事などを分担すること」40.4%、「家事や育児を男女で分担するような育て方や教育をすること」36.6%となっている。



5. 今後の北九州市の子育て支援

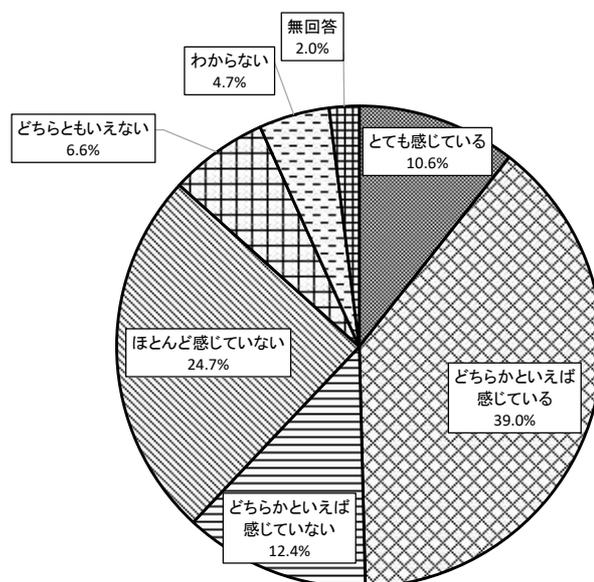
(36) より力を入れてほしい子育て支援策(問24)【複数回答】

より力を入れてほしい子育て支援は、「子育てに関する公的な経済的支援」が49.7%で最も高く、次いで「救急医療をはじめとする子どもの医療体制」38.9%、「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境（職場における子育て支援、子育て家庭に対する理解など）」37.3%、「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」28.0%などとなっている。



(37) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか(問 25)

子育てが地域の人に支えられていると感じるかについて尋ねたところ、「とても感じている」10.6%、「どちらかといえば感じている」39.0%を合わせた『支えられていると感じている』割合は49.6%で、「どちらかといえば感じていない」12.4%、「ほとんど感じていない」24.7%を合わせた『支えられていないと感じていない』割合は37.1%となっている。



(N=1181)